

<福島県納税貯蓄組合連合会会長賞>

## 東日本大震災経費の使い道

福島市立渡利中学校

3年 蓮沼 楓

私は、東日本大震災のときの税の使い方について疑問に思ったことがあります。

その事とは原子力復興関係経費についてです。このお金は主に除染などに使われたそうですが、このお金は税から払う必要は無いと思います。なぜなら、原子力発電所を作っていたのは東京電力という会社で、それに電気を売っている先は福島ではなく東京であると聞いたからです。

福島は、原発事故の被害を大きく受けています。それは、福島の野菜や果物、魚類などのおいしい特産物の売り上げが低下してしまったこと、福島県民立入り禁止の店があること、そしてやむをえず避難し、故郷を離れなくてはいけない人などです。福島は、フルーツラインがあったり、いわき市ではおいしい魚を食べることができたり、福島には数々の特産品があります。しかし、全国の人々には福島の食べ物＝毒物というように勘違いされていると思います。例えば福島の野菜が売れないので、あるスーパーでは開店前に店員が福島の野菜を他県の野菜コーナーに移動したということもあったそうです。

また、東北地方から離れたある地域で、

「福島の人、立ち入り禁止」

という看板のかけてあるお店もあったようです。私はこのことを初めて聞いたときにとても驚きました。福島の人には原発事故の被害にあったのに偏見を持たれるというのは納得いかなかったからです。それに避難している人に対するい

じめが消えないのも納得できません。

私は、国のお金をこのような被害にあった人のためにもっと使ってほしいです。除染に使うお金は東京電力が責任を持って払うべきだと思うし、その分のお金の7,556億円は県や地域の復興、偏見を無くすために使ってほしいです。

また、仮設住宅に使う税も増やしてほしいと思います。なぜなら、冷房の機械が無い、使いにくい、などといった仮設住宅があると聞いたからです。いろいろな人の支援によって作られた、たいへん住みやすい住宅もありますが、それが全てではないということが今の課題だと思います。先日起きた西日本の豪雨でも、家を雨や川の水などによって流されてしまった人もいました。私は、今回の豪雨により被害を受けた人の仮設住宅は充実させてほしいです。

東日本大震災では、税金などを使わずにボランティアをしていただける人がたくさんいました。私の母校の渡利小学校にも、たくさんの支援をしてくれる人々がいました。

私は、税の使い道をもう少しだけでも困っている人にとって必要なことを優先に、かつ皆が使いやすいようなものにもっと使ってほしいです。